

令和8年第2回市議会定例会

提出予定議案 概要等

令和8年2月19日



施政方針

令和8年度当初予算案について

2040年ビジョン実現へ

好循環をつくり出し「小松を明るく、にぎやかに!」

- 悠久の歴史から受け継がれた小松を次世代へ。
未来につなぐ **まちづくり5.0** を始動!
- **課題を先送りせず**、いま、真正面から取り組みます
- 様々な方々との**対話とコミュニケーション**で進めます
- **ウラ日本**から、新しいまちづくりに**挑戦し続けます**



好循環を生み出す 都市経営 と 中長期的視点に立った 行政経営 を実践し続けます

- 都市機能を最大限に活用し拠点性を高め、仕事を創り人流を活性化させる
 - ▶ 小松駅・空港周辺エリアへの民間投資誘発、新しい産業団地や若者・女性が働ける産業構造の創生
- 子育て環境と教育の質を向上し、子どもたち・親たち、家族みんなの幸福度を引き上げる
 - ▶ ダントツの子育て・教育環境の実現、市立学校の最適化や教育体系のあり方の抜本的見直し
- 安心感や満足感を得る生活空間をつくり、全ての人の居住や滞在の価値を高める
 - ▶ 人口激変下に合う医療・防災・福祉・地域交通の再構築と担い手育成、生きがいづくりの推進
- 世代を超えた公平・安定的な行政へ、先送りしない行政体質への転換を果たす
 - ▶ 山積する課題や社会ニーズに向けた財政基盤の構築、行政改革や公共資産活用、市職員の育成



施政方針

小松まちづくり5.0

歴史を受け継ぎ 未来をつくる

9 ナインプロジェクト



01

小松空港シン都心整備

商業・工業・公共などの多様な機能が融合した新しい集客エリアを創る

02

小松駅周辺の再整備

新幹線効果を追い風に小松らしさと賑わいが共存する駅前に



03

芦城公園周辺の再整備

未来型図書館を中心に知・文化・歴史・交流・緑が融合する一大ゾーンに



04

木場潟に子育て拠点の整備

北陸随一の学び・遊びの場をつくり、2030年の育樹祭開催を実現



05

産業ブースト計画

新産業団地の整備や企業誘致の加速、起業や事業承継を促進



06

未来を育む学びのリビルド

全小中学校と市立高校の規模・立地・教育体系の抜本的な再構築



07

南加賀の地域医療の強化

高度な新病院建設と地域医療との機能分化・連携強化



08

地域交通の再構築

誰もが気兼ねなくスマートな移動手段の再設計と実装



09

市税収入200億突破計画

ふるさと納税10億円達成など戦略的な自主財源の大幅アップ





予算額

一般会計	特別会計	企業会計	全会計
576億8,000万円	302億900万円	278億470万円	1,156億9,370万円

※ R8当初予算+R7前倒し予算 = 一般会計：583億円 全会計：1,163億1,370万円



01

世界に時めく日本海側の拠点都市こまつ

Vision

シン都心づくり

栗津駅周辺整備費 (ス)

2億3,100万円

駅東広場整備、駅西広場環境整備

小松駅・空港間自動運転バス運行費 (ス) (3)

8,960万円

自動運転バスレベル4に向けた高度化 ほか

8,766万円

公共ライドシェア運行費 (ス)

(3) 2,510万円

小松市ライドシェアi-Chanの運行、南部地区での乗合ライドシェアの運行

1,920万円

市内コンベンション開催支援費

2,020万円

MICEや教育旅行など市内宿泊を伴う全国大会等の開催支援

「安宅の里」こまつ勸進帳の里・安宅公園管理運営費

1,687万円

「安宅の関」こまつ勸進帳の里と安宅公園とを一体として指定管理者による運営に移行

遊泉寺銅山跡振興費

420万円

寄附を活用した桜の植え替えを実施ほか

産業観光推進費

(3) 600万円

オープンファクトリーの開催 GEMBAプログラムの通年販売の実施 ほか

1,100万円



産業ブースト・産業創生

企業誘致推進費 6億6,495万円

令和8年度に操業予定企業への立地助成金
民間等を活用した企業誘致活動の推進

小松駅東地区複合ビル
オフィスフロア運営費^③ 8,380万円

北電ビル「ウレシヤス小松」5階にオープンした
オフィスフロアを新たな産業創生の拠点に

向本折地区土地区画整理費^③【産業団地会計】 1億2,600万円

事業計画書作成、造成に向けた準備工事

サテライトオフィス立地推進費 4,000千円

オフィス誘致により女性の活躍や新産業創出を推進
(ウレシヤス小松進出企業への支援金ほか)

スタートアップ企業等創業支援費^③ 2,302万円

空き店舗・空き家を活用した創業支援
スタートアップ企業を育成・支援する仕組みづくり

事業承継支援費 225万円

マッチングプラットフォームサイト「継業バンク」の
運営ほか

農林水産業・農山村創生

強い農業ひとづくり支援費(一部) 1,000万円

新商品開発や資格取得、スマート農業等の取組みを支援

早成日本桐活用効果実証事業費^③^③ 1,000万円

早成日本桐を活用した農山村地域の脱炭素推進
活動と荒廃農地有効活用の実証実験

特定地域づくり事業費^③ 1,928万円

令和7年12月に始動した特定地域づくり協同組合への支援



子どもたちの輝く未来創造都市こまつ



Learn Well, Live Well
いつだって、誰だって、新しい可能性を

子育てするならダントツ小松

こども誰でも通園制度 (新) 1,360千円

保護者の就労状況に関わらず、歳6か月から3歳未満の未就園児がこども園等を月一定時間まで利用できる制度

こども預かりサービスステーション費 1,109万円

こども園等の登園前と降園後の時間に、児童を一時的にカブッキーランドで預かるとともに在籍するこども園等に送迎

予防接種費 (一部) 2億6,127万円

子どもに係る予防接種費
デジタル予診票(令和7年11月開始)の運営費ほか

児童手当給付費 21億7,947万円

高校生年代以下の子どもの養育者に児童手当を支給

認定こども園だいいち整備費 (ス) 2億2,999万円

園舎、園庭の工事着手 【債務負担行為】8億3,581万円
(令和9年10月完成目途)

本江地区住まいづくり推進費 2億6,000万円

子育て世代に向けた地域優良賃貸住宅を展開
(余剰地は民間による分譲)



未来を育む学びのリビルド

公立学校配置最適化検討費 (ス) 500万円

学校配置最適化計画の個別計画取りまとめ・策定

ICT教育環境推進費 (ス) 2億3,370万円

GIGAタブレットなど教育DX維持費
電子黒板を3ヵ年計画で全普通教室に配備 (新) ほか

小学校校舎等改修費 6億3,258万円

【債務負担行為】3億5,623万円

中学校校舎等改修費 5,239万円

小中学校校舎の空調復旧や照明LED化実施設計 ほか

松陽中学校整備費 (ス) 7億2,960万円

【債務負担行為】23億5,329万円

松陽中学校の第1期工事(増築部分)の
工事に着手(令和8~10年度)

学校給食費 (ス) 6億5,084万円

学校給食の食材調達等

市立高校改修費 (拡) (ス) 1億2,820万円

校舎教室棟の空調改修工事
学校体育館への空調新規設置(実施設計) 【債務負担行為】1億8,430万円

(ス) スライド (新) 新規 (拡) 拡充 (3) 3月補正



誰もが暮らし続けられる生涯安心のこまつ

医療・介護・福祉・健康づくり

新病院建設費【病院会計】**新** **ス** 8,520万円
基本設計、設計支援業務、
医療系コンサル業務 ほか
【債務負担行為】3億930万円

障がい者相談支援費(一部) **拡** **ス** 585万円
相談支援専門員不足の現状から、専門員を新たに配置した
事業所を支援、資格取得に奨励金

介護人材確保・職場環境改善支援費 **ス** **拡** **③** 300万円
介護ロボット等の導入・介護現場のICT化の促進普及、
専門員資格取得費補助、事業所カスハラ対応支援
120万円

予防接種費(一部) **拡** 2億7,736万円
高齢者の予防接種に係る自己負担額を前年同額に
据え置き ほか



地域交通の再構築

らく賃パスポート運営費 **拡** **ス** 6,000万円
高齢者、障がい者、学生を対象とした市内路線バス定期
らく賃パスポートをデジタル化し、利用者の利便性向上

こまつシェアサイクル管理運営費 827万円
まち乗り電動アシスト自転車のシェアリング



命を守る防災・減災

防災体制強化費 **ス** 5,213万円
県の地震被害想定 of 更新を受け「地震ハザードマップ」を改訂、
県・県内市町共同で避難所管理システムを整備 ほか

中消防署西出張所整備費 **ス** 1億1,591万円
西出張所庁舎の整備
【債務負担行為】4億7,113万円

水道配管台帳システム構築【水道会計】**新** 2,000万円
配管図と維持管理情報をデジタル化し、
業務を効率化(令和8~10年度)
【債務負担行為】8,000万円

地域社会の維持・形成

定住促進費 **拡** 7,000万円
対象延床面積要件の緩和(75㎡以上→50㎡以上)
認定申請期限の延長(転入から1年未満→2年未満)

未活用住宅等対策費 **拡** **ス** 2,650万円
老朽空き家解体補助制度の要件緩和(危険度100点以上→75点以上)
固定資産税減免制度創設

下水道使用料の改定【下水道会計】**ス** **【歳入】** 4,500万円
長期にわたり施設を安定的に維持・管理していくために
下水道使用料を平均14%引上げ
※合わせて物価高騰対策で半年間は引上げは半分に

誰もが暮らし続けられる生涯安心のこまつ

物価高対策

生活応援プレミアム付き商品券発行費

プレミアム率50%のプレミアム付き商品券を発行
(13.5億円分、1世帯あたり2万円まで購入可)

① 13億9,900万円

生活応援自治体マイナポイント事業費

16歳以上の市民に5,000円相当の自治体マイナポイントを付与

① 2億9,200万円

物価高対応子育て応援手当給付費

児童手当受給者に児童1人あたり2万5千円の手当を給付
【国】2万円 【市】5千円

(市独自支援分)

① 8,500万円

水道基本料・メーター使用料の減免 (ス)

令和8年2月～5月使用分(4か月間:令和8年3月～
6月検針分)の水道基本料金・メーター使用料を減免
【県】口径25ミリ以下の水道契約 約46,000件
【市】口径30ミリ以上の水道契約 約900件

(県支援分)

3億2,943万円

(市独自支援分)

5,840万円

下水道使用料の減免 (ス)

使用料改定に伴う影響額の半額を減免
(令和8年8月～令和9年1月使用分(6か月間:
令和8年9月～令和9年2月検針分))

4,500万円

高齢者予防接種自己負担額の抑制 (ス)

昨年度に引き続き、国交付金を活用し自己負担額の抑制により
接種を推進

3,200万円



自然が映え文化が息づくふるさとこまつ

文化継承・発展

芸術劇場大規模改修費 **ス** **③** 4億円

舞台装置のデジタル化、
施設の長寿命化改修工事 ほか
(令和9年7月リニューアル予定)

【債務負担行為】18億4,257万円

曳山保存展示施設整備費 **ス** 5,000万円

橋北地区に曳山保存展示施設を整備



日本遺産振興費 **③** 400万円

日本遺産「石の文化」認定10周年イベント開催 ほか

737万円

歌舞伎のまちこまつ推進費 1,799万円

令和8年5月5～6日 日本こども歌舞伎まつりin小松 大千穂楽
團十郎巡業公演 ほか

こども絵本館開館20周年記念事業費 310万円

20周年記念セレモニー、特別展開催など、
年間を通じて記念事業を開催

尾小屋鉱山資料館周辺持続活性化費 8,000万円

尾小屋マインロードの安全対策工事 ほか

環境保全・ゼロカーボン

森林環境保全推進費 3,560万円

森林環境譲与税の活用
(人工林整備、支障木伐採、松くい虫対策 ほか)

鳥獣総合対策費(一部) 100万円

サル対策として電気柵等設置に対し助成

公有財産管理費(一部) 660万円

公用車3台をHV環境配慮自動車に更新

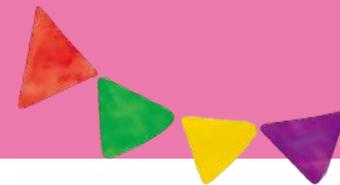
脱炭素・環境活動推進費 1,102万円

再生可能エネルギー普及や地域環境活動を支援

ごみ減量化・リサイクル推進費 8,134万円

指定袋制度の運営、リサイクル率向上に向けた助成
生ごみ処理機等の購入補助





クオリティ・オブ・ライフの向上（生涯学習・スポーツ）

未来型図書館等複合施設整備費^② 3億4,570万円

未来型図書館等複合施設の整備に着手
(令和12年度オープン予定)

未来型図書館づくり推進費(一部) 654万円

こまつリビングラボ、子ども司書養成講座、
子ども学芸員養成講座 ほか

こまつ運動公園テニスコート等整備費^② 1,800万円

末広テニスコート16面化により、より大規模な大会が
開催できる施設に(設計・測量)

陸上競技場公認継続整備費 2,700万円

末広陸上競技場の災害復旧工事後の公認申請に必要な
器具等を整備

スポーツ施設整備費 2億2,150万円

木場潟カヌー競技場改修、こまつドーム屋外グラウンド
人工芝補修 ほか



行政経営

◆DX

スマートシティ・スマート市役所推進費 3,387万円

業務効率化推進、公金のeL-TAX利用によるキャッシュレス
決済導入(令和8年10月目途) ほか

ふるさと納税の推進 [歳入] 7億円

新たな返礼品の開発等により、全国へPRを展開

◆公共施設マネジメント

危険・老朽・供用終了等施設の解体 2億2,687万円

有利な地方債を活用し解体

〔旧大杉青年の家、木場潟スポーツ研修センター研修棟、旧金野保育所、
安宅第2・四丁町住宅、丸山研修センター、旧安宅コミュニティセンター(設計)〕

災害復旧・被災者支援

地域コミュニティ施設等の災害復旧 1億3,530万円

復興基金等を活用したコミュニティ施設の復旧補助

被災宅地等復旧支援費 2,600万円

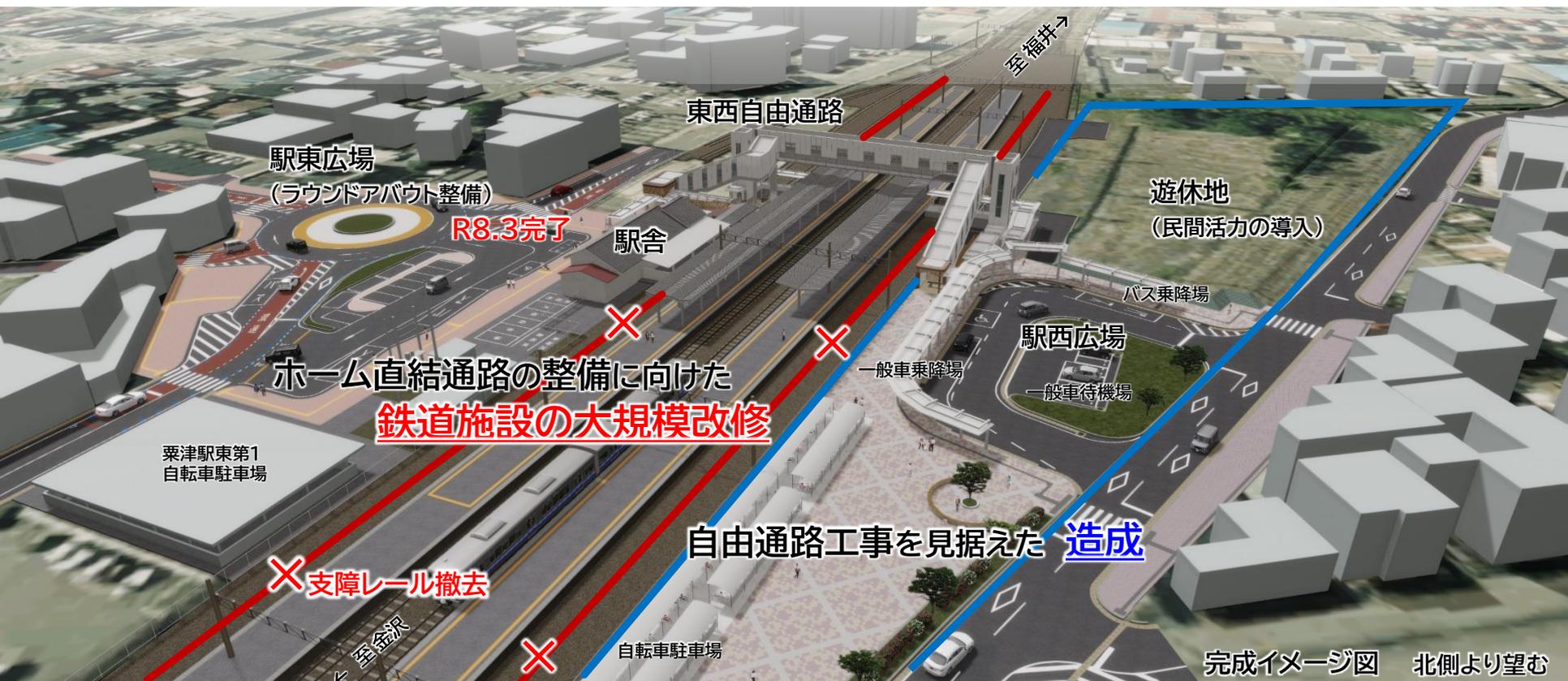
復興基金等を活用した液状化等に係る宅地の復旧補助

下水道管路等の災害復旧【下水道会計】 3億2,000万円

川辺第1処理区分、第一分区、松陽分区ほか

南部エリアの玄関口 栗津駅の再構築

～東西のアクセスを一体化し、まちの広がりと利便性を飛躍的に向上!!～



令和8年度 主なアクション

- ▶ 自由通路着手に向けて：駅西広場や遊休地を含めた **造成** に着手
- ▶ 鉄道施設の大規模改修：東西2方向化の実現に向けて I R いしかわ鉄道線の **レール等を撤去**
- ▶ 未来への拠点づくり：「**遊休地**」の **民間活用** を視野に 利便性向上と賑わいの連鎖を創出

予算 地域交通の再構築に向けて

予算額

3月補正：1億1,470万円
R8当初：1億2,136万円

利便増進実施計画

R8当初：700万円
(国庫補助：350万円)

新たな地域公共交通計画に基づき
利便増進実施計画(アクションプラン)を策定

- ✓ 需要に応じた路線・ダイヤの構築
- ✓ 鉄道とバスとの接続強化
- ✓ 交通空白地への地域の実情に応じた交通手段導入 など

誰もが、気兼ねなく、スマートに、
お出かけができる こまつ

らく賃パスポート

R8当初：750万円
(国庫補助：375万円)

① らく賃パスポートのデジタル化

紙のパスポートを**スマホアプリ化**し、
購入時やバス乗降時の利便性を向上

- ✓ スマホから“いつでも”“どこでも”購入
- ✓ **キャッシュレス決済**が可能に
- ✓ アプリ画面の表示・読み取りで**スムーズに乗降**



② らく賃パスポート料金改定

1,000円程度の値上げを予定し、料金改定に
向けた調整・協議を実施

ライドシェア

3月補正：2,510万円 (国庫補助：1,255万円)
R8当初：1,920万円 (国庫補助：739万円)

① 夜間ライドシェア

タクシーとの**共同運営サービス**を導入

- ✓ 配車の**最適化**で利便性を向上



② 南部乗合ライドシェア

実証実験(R7)で抽出された**課題を改善**

- ✓ **運行エリア**の拡大(月津・木場)
- ✓ **運行時間帯**の再考(通院・通学対応)
- ✓ 学生の利用を見込んだ**運行改善**

自動運転バス

3月補正：8,960万円 (国庫補助：4,480万円)
R8当初：8,766万円 (国庫補助：6,240万円)

レベル4許可(県公安委員会)を取得し、
駅・空港間全区間レベル4走行を実現

- ✓ 許可取得に向けた手続きを実施
- ✓ 安全・安心・安定した路線バス運行(レベル4)に向け、**運用面も含めた準備を推進**
- ✓ 回送ルートの自動運転化対応

【利用者数】※1月末現在
7,564便走行、**37,410**人乗車
(約5人/便)



予算 **新産業団地整備（向本折地区）**
 ～向本折地区土地区画整理事業～

予算額：1億2,600万円



「産業創生都市こまつ」を加速！
 ○地場企業の事業拡大や成長を支援
 ○市外県外からの新たな産業を誘致

- ◆造成準備工事、事業計画書作成
- ◆実施設計、換地設計、物件補償、用地取得等、引き続き実施



「スタートアップ」企業の創出支援 (予算額:300万円)

小松駅周辺の環境整備が概ね完了し、新たな交流・賑わいが創出



北陸新幹線開業を契機に、今後の新産業創出に向けた取組を強化

地域発のスタートアップや地場企業による新規事業創出を、より高いレベルで支援する仕組みを検討

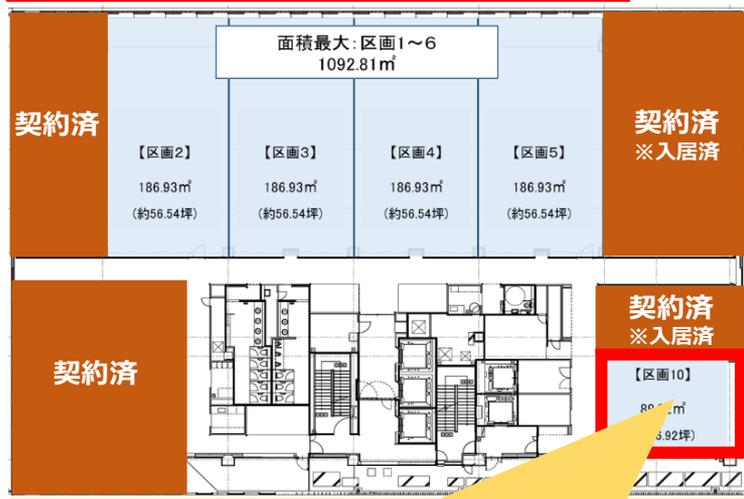
- 大学、企業との連携
(研究成果の事業化や実証機会の提供)
- 社会実装支援 等



⇒「産業創生都市こまつ」としてのレベルアップ



ウレシヤス小松オフィス状況



優先交渉権者の決定(区画10)

株式会社 ウイズ・ワン

本社：東京都中央区
業種：情報サービス業
業務内容：ソフトウェアの企画・開発等

5社 6区画目

予算

農山村地域の持続可能な地域社会の形成に向けて

早成日本桐活用効果実証事業 特定地域づくり事業

予算額 1,000万円

予算額 1,928万円

早成日本桐活用効果実証事業

環境保全効果と木材としての利用も期待

R 8~12の5年間、放棄地等を活用した早成日本桐（約800本植樹：4月,7月）の継続的な保育・管理へ

- ✓木材の利活用を通じた収益性（産業・雇用の創出）
- ✓ゼロカーボンへの貢献効果（CO₂の吸収性）
- ✓里山の再生・活性化（農地・山林の活用）

以上の観点から定量・定性的な評価を検証。

応援

株式会社 **たけでん**

企業版ふるさと納税（1千万円）を活用



CHECK!

植樹後3年で
8~10mに
画像引用元：
株式会社ジャパロニア

荒廃地を整備地へ



早成日本桐100本を試験植樹



R7. 10/4 菩提町にて

特定地域づくり事業協同組合

里山で挑戦する人々のベースキャンプ（拠点、出発点）

里山の課題

- 冬場に仕事がない
- 繁忙期の人手不足
- 若者が定住しにくい

職員をマルチワーク派遣

こまつ里山BASECAMP 事業協同組合



- R7. 11/21 特定地域づくり事業協同組合の認定
- 11/28 労働者派遣事業の届出受理
- 12/13 事業開始式
- 12/22 派遣開始（宿泊業に2名派遣）

■派遣職員

- R7.12月 職員2名（20代）
- R8. 4月 職員5名見込
- R8目標 職員10名

R10目標

職員**15**名・組合員**30**者

■組合員（派遣先）

- R7当初 組合**3**者
- 宿泊業など
- 加入予定 —
- 観光農業
- 農産物販売業
- 木材加工業
- 介護福祉業など

解決策

- ✓通年で仕事を創出
- ✓必要なときに派遣
- ✓地域の担い手確保

予算 松陽中学校整備

予算額：7億2,960万円
債務負担行為：23億5,329万円

ともに学び育つ学び舎

最も多くの生徒が通う松陽中学校について、質の高い教育環境を確保するため、校舎の整備を進めます。メディアライブラリーやワークスペース等を活用し、主体的・協働的な学びを深め、ランチルームでの交流を通して豊かな学校生活を育みます。



安全性と快適性を高めた機能的な校舎

見通しのよい動線に加え、車いす対応エレベーターの設置などバリアフリーに配慮し、生徒が安心できる校内環境を整えます。また、自然採光・通風を活かし、明るく快適な環境を確保します。

整備スケジュール

R7	R8	R9	R10	R11	R12
道路撤去	新校舎建設			仮設校舎建設・既存校舎改修	
					外構工事



「こまつの教育大綱」を改訂（令和7年4月）



Learn Well, Live Well

いつだって、誰だって、新しい可能性を

電子黒板整備 予算5,000万円

▶ 事業の位置づけ

教育大綱および国のGIGAスクール構想が目指すICT環境を整えることにより、教育の質の向上を図り、すべての子どもの可能性を引き出す「令和の日本型学校教育」を実現。

▶ 整備目的・効果

児童生徒の考えや意見を可視化・共有することで、対話と振り返りを通じた深い学びを促進。
教師主導の「教わる授業」から、児童生徒主体の「学びとる授業」への転換を図り、未来を切り拓く資質・能力を育成。

▶ 整備計画

今後3年間を目標に、小中学校全ての普通教室に整備。



電子黒板の導入メリット

- デジタル教材を活用した分かりやすい授業の実施
- 授業内容の保存・共有による、振り返りや学習の充実
- 双方向で協働的な授業の推進
- 教育DXの推進による、教育の質の向上
- 個々の学習ニーズに応じた指導の充実

公立学校配置最適化検討 予算500万円

学校の在り方に関するアンケート（保護者・市民・教職員）や計5回の市長との対話会（地域住民・PTA・学校長）を通じて学校配置最適化の基本方針（案）を策定中

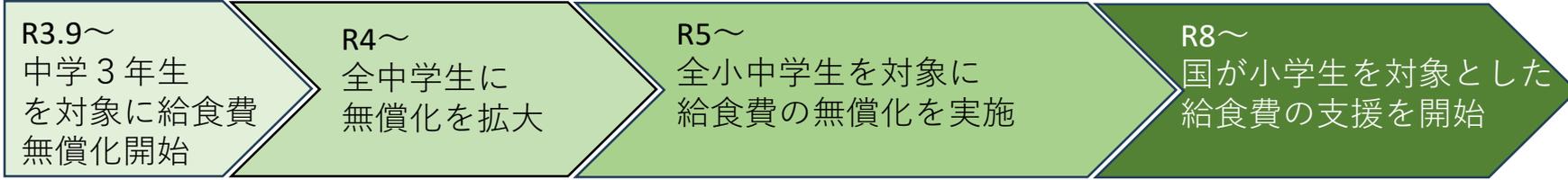


今後は、パブリックコメントを募集したうえで基本方針（案）を取りまとめ、具体的な個別計画の策定に着手

学校給食に対する小松市の取組み

○ 国に先駆けて給食費無償化を実施

予算額：6億4,400万円（うち、児童生徒分：5億6,600万円）



○ おいしい給食の提供のため、物価上昇にあわせて食材費を引き上げ



【新規】市町村給食費負担軽減交付金(仮称)

県交付金：3億70万円

- ・公立の小学校に通学する児童を対象に支援を開始 (R8.4～)
- ・小松市ではこれまで通り全児童生徒の給食費無償化を継続

小学生分
3億4800万円

中学生分
2億1800万円

合計 月額約6,000円/人	
国・県支援分 3億70万円 (月額5,200円)	
小松市負担額 月額約7,200円/人	小松市負担額 月額約800円/人

【継続】小松市学校給食費無償化補助金

予算額：610万円

小松市立学校以外(国立・県立・私立等)に通学する児童生徒に対して、保護者が小松市民であれば給食費相当額を補助金として交付

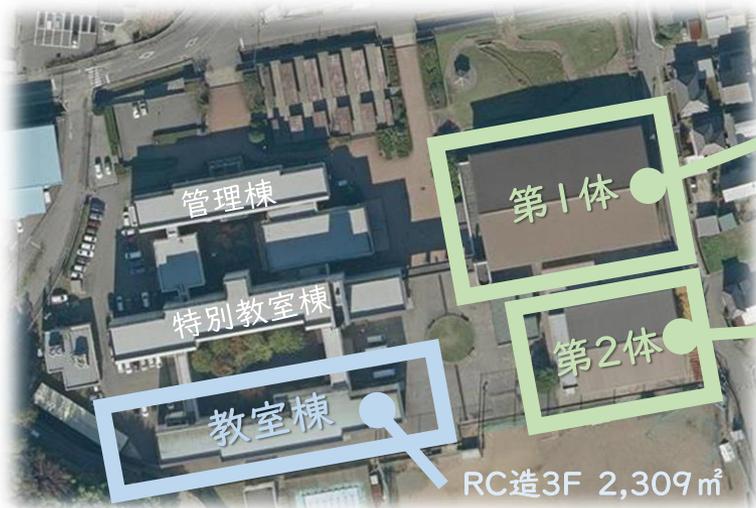
⇒ R8年度以降も継続



校舎空調復旧第1期（教室棟）工事

予算額：1億1,770万円
（債務負担行為：1億8,430万円）

▶ 個別空調化で無駄なく・快適な温度管理



▶ 第1期（教室棟）※R6実施設計済

R8着工

R9完了

▶ 第2期（特別棟・管理棟）

R9着工

R10完了

第1・2体育館空調設置実施設計

R8予算額：1,050万円

▶ 猛暑日における生徒の安全確保

▶ 災害時の指定避難所としての環境改善

第1体育館

鉄骨造1F
1,648㎡



第2体育館

鉄骨造2F
888㎡



▶ スケジュール

R8
実施設計

R9
着工

R10
完了

予算

認定こども園だいいち整備

予算額 2億2,999万円
債務負担行為 8億3,581万円

保育室全室を南側に配置し、日差しが差し込む快適な環境を創出します。



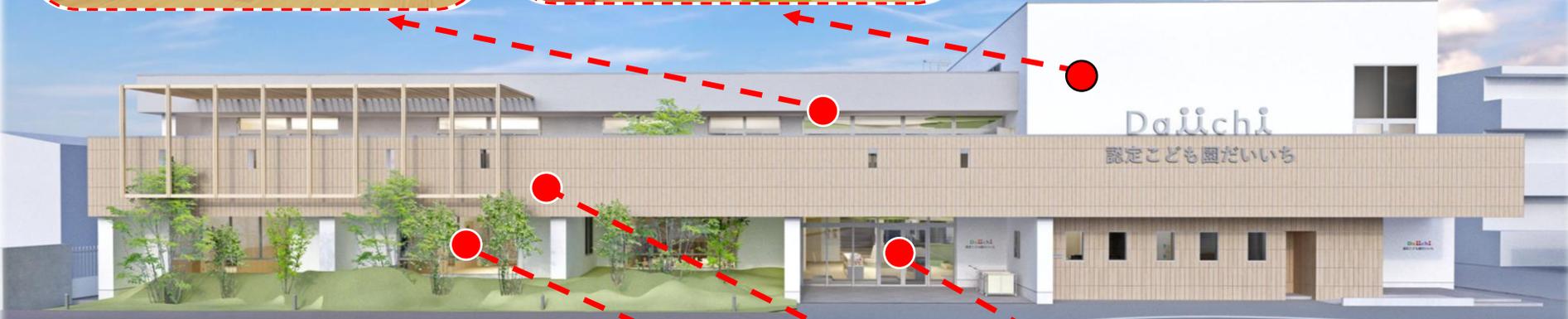
2F 絵本ホール



2F 遊戯室

その他の特色

- ・新たな機能として、病後児保育室、多目的室、相談室を設置
- ・園庭は、多様な自然体験・運動遊びで「こころ」と「からだ」の育ちを保証



スケジュール

令和8年7月～園舎工事

令和9年2月～園庭工事

令和9年6月～外構工事

令和9年10月～開園予定



1F 未満児保育室
2F 以上児保育室



1F エントランス
絵本コーナー